

令和3年度「学校教育自己診断」(アンケート)の実施結果および分析、考察について

1. 実施対象

- ・生徒(むらの・共生)
- ・保護者(むらの・共生)
- ・教員(むらの)

2. 実施時期

- ・令和3年度11月

3. 回収状況

	実施対象	回答数(回収率)	
		今年度	昨年度
生徒	1年	30 (94%)	
	2年	29 (91%)	
	3年	29 (91%)	
	共生	15 (100%)	
	生徒 合計	103 (94%)	(98%)
保護者	1年	23 (72%)	
	2年	29 (91%)	
	3年	21 (68%)	
	共生	5 (33%)	
	保護者 合計	78 (71%)	(97%)
	教員	35 (85%)	(100%)

4. 診断結果(アンケート結果)および分析、考察について

(1) 項目ごとの診断結果(アンケート結果)、分析、考察

- ・別紙参照：令和3学校教育自己診断 診断結果及び分析、考察について

(2) アンケート回収率について

全体的に回収率が低下し、特に保護者の回収率が例年に比べて低下した。これは、今年度アンケート実施方法を変更したため、アンケート未提出者の特定ができず、再周知の声掛けが確実にできなかったことが主な原因であると考えられる。

次年度は、アンケート配付時に資料を封筒に入れて持ち帰り、アンケート回答後に封筒を回収する方法で実施したい。封筒の回収を行うことで未回答者の特定ができ、効果的な声掛けができ回収率の向上に期待できる。

令和3年度学校教育自己診断 診断結果及び分析、考察について

①生徒（むらの全学年）

回答数 88

	項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定 <参考>	分析・考察
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学べた。	53	31	4	0	0	95.5%	-	+2.1%	93.4%	
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	60	24	3	1	0	95.5%	-	+3.2%	92.3%	
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	57	24	5	1	1	92.0%	-	+0.8%	91.2%	
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。（職場実習、オープンスクール、学校祭）	51	29	8	0	0	90.9%	-	新規	-	
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	54	26	4	4	0	90.9%	-	+6.3%	84.6%	
4	先生は、将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれる。	39	39	8	2	0	88.6%	-	+6.2%	82.4%	
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	44	33	10	1	0	87.5%	-	-0.4%	87.9%	
2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの行事は、楽しい。	51	25	8	4	0	86.4%	-	+1.8%	84.6%	
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	37	38	11	2	0	85.2%	-	-3.8%	89.0%	
5	相談できる先生がいる。	43	31	13	1	0	84.1%	-	-2.7%	86.8%	
1	学校へ行くのが楽しい。	34	36	12	6	0	79.5%	-	-0.7%	80.2%	
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	35	34	14	5	0	78.4%	-	-5.1%	83.5%	

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↗↘）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
②肯定率が70%未満の項目について
③全体について
- 《分析・考察》
①該当なし
②該当なし
③全体について
 - ・全体的に肯定率は高い。次年度以降もこの水準を維持しつつも、肯定率の下位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。
 - ・項目10「自分の個別の～目標を知っている。」については生徒への周知方法に工夫の余地があると考えられる。教務部、学年が連携で検討できれば。
 - ・全体の肯定率は高い傾向ではあるが、項目の「いじめ」や「進路」に関する内容については少数であっても否定的な回答があることを受け止める必要があるのではないか。

回答数 29

	項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定<参考>	分析・考察
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	22	7	0	0	0	100.0%	-	+3.3%	96.7%	
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学べた。	22	6	1	0	0	96.6%	-	-3.4%	100.0%	
2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの行事は、楽しい。	17	10	1	1	0	93.1%	↗	+13.1%	80.0%	生徒の成長により、素直に行事が楽しめるようになったのではないかと考えられる。
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	20	7	2	0	0	93.1%	-	-0.2%	93.3%	
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。（職場実習、オープンスクール、学校祭）	18	9	2	0	0	93.1%	-	新規	-	
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	20	5	3	0	1	86.2%	-	-3.8%	90.0%	
1	学校へ行くのが楽しい。	11	13	3	2	0	82.8%	-	+6.1%	76.7%	
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	13	11	4	1	0	82.8%	-	-0.5%	83.3%	
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	17	7	3	2	0	82.8%	-	+6.1%	76.7%	
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	14	10	4	1	0	82.8%	-	-3.9%	86.7%	
4	先生は、将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれる。	14	9	5	1	0	79.3%	↘	-10.7%	90.0%	3年生になり進路の話をする機会は増えている。一方で、進路選択に直面することで生徒自身の不安や迷いなどが表れているのではないかと考えられる。
5	相談できる先生がいる。	12	11	6	0	0	79.3%	-	-7.4%	86.7%	

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
- 《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↗↘）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
- ①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
- ②肯定率が70%未満の項目について
- ③全体について

《分析・考察》

- ①増：項目 2 減：項目 4
- ②該当なし
- ③全体について
 - ・全体的に肯定率は高い。全体の結果については、次年度の3年生の取り組みに活かしたい。

	項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比(±10%)		前年度肯定 <参考>	分析・考察
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	20	8	0	1	0	96.6%	-	+6.0%	90.6%	
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学べた。	16	12	1	0	0	96.6%	↗	+12.2%	84.4%	避難訓練の実施前に事前学習の取り組みを行ったことが要因ではないか。
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	16	11	1	1	0	93.1%	-	+5.6%	87.5%	
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	16	11	1	1	0	93.1%	-	-0.7%	93.8%	
4	先生は、将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれる。	12	14	2	1	0	89.7%	↗	+17.8%	71.9%	2年生になり、1年生のときより実習の期間が延びるなど、進路について考え、取り組み時間が増えたことなどが要因ではないか。
5	相談できる先生がいる。	15	10	4	0	0	86.2%	-	-1.3%	87.5%	
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	15	10	4	0	0	86.2%	-	-7.6%	93.8%	
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭)	15	10	4	0	0	86.2%	-	新規	-	
2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの行事は、楽しい。	17	7	3	2	0	82.8%	-	-7.8%	90.6%	
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	7	15	6	1	0	75.9%	-	-5.4%	81.3%	
1	学校へ行くのが楽しい。	10	11	4	4	0	72.4%	↘	-15.1%	87.5%	1年生から2年生になり、むらのでの学習が進んでいく中で、楽しい取り組みだけでなく進路実現に向けて厳しさや大変さに直面している表れではないか。
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	11	10	5	3	0	72.4%	-	-8.9%	81.3%	

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
- 《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印(↗↘)を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
- ①10%以上の増減(肯定率)があった項目について
- ②肯定率が70%未満の項目について
- ③全体について

《分析・考察》

- ①増：項目11、項目4 減：項目1
- ②該当なし
- ③全体について
 - ・全体的に肯定率は高いが、学年で比較すると低めの傾向。肯定率の低位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。

令和3年度学校教育自己診断 診断結果及び分析、考察について

④ 生徒（むらの・7期生(1年生)）

回答数 30

	項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）	前年度肯定 <参考>	分析・考察
4	先生は、将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれる。	13	16	1	0	0	96.7%			
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	21	8	0	1	0	96.7%			
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	21	8	1	0	0	96.7%			
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	20	9	1	0	0	96.7%			
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	16	12	2	0	0	93.3%			
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学べた。	15	13	2	0	0	93.3%			
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。（職場実習、オープンスクール、学校祭）	18	10	2	0	0	93.3%	新規		
5	相談できる先生がいる。	16	10	3	1	0	86.7%			
1	学校へ行くのが楽しい。	13	12	5	0	0	83.3%			
2	学校祭・校外学習・宿泊研修などの行事は、楽しい。	17	8	4	1	0	83.3%			
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	8	16	5	1	0	80.0%			
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	10	14	5	1	0	80.0%			

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↑↓）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
②肯定率が70%未満の項目について
③全体について
- 《分析・考察》
①該当なし
②該当なし
③全体について
・全体的に肯定率は高い。次年度以降もこの水準を維持しつつも、肯定率の下位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。

回答数 73

	項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定 <参考>	分析・考察
3	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	54	18	0	1	0	98.6%	-	+5.3%	93.3%	
8	学校は子どもに生命を大切にす 心や社会ルールを守る態度を養 おうとしている。	57	13	3	0	0	95.9%	-	+0.3%	95.6%	
7	学校は日常の教育活動において、 子どもの人権を十分に尊重して いる。	49	21	3	0	0	95.9%	-	+9.2%	86.7%	
9	学校の授業参観や学校行事に参 加したことがある。	42	27	3	1	0	94.5%	-	+6.7%	87.8%	
10	学校は、教育情報について提供 の努力をしている。	44	24	4	0	1	93.2%	-	+6.5%	86.7%	
6	学校は、いじめについて子ども が困っていることがあれば真剣に 対応してくれる。	46	21	3	0	3	91.8%	-	+2.9%	88.9%	
4	学校は、子どもの障がいについ て、よく理解している。	42	25	6	0	0	91.8%	-	+4.0%	87.8%	
5	学校の生徒指導の方針に共感で きる。	36	29	8	0	0	89.0%	-	+6.8%	82.2%	
2	子どもは授業がわかりやすく楽 しいと言っている。	23	40	10	0	0	86.3%	-	+7.4%	78.9%	
1	子どもは学校へ行くのを楽し みにしている。	37	25	10	1	0	84.9%	-	+0.5%	84.4%	

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↗）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
②肯定率が70%未満の項目について
③全体について
- 《分析・考察》
①該当なし
②該当なし
③全体について
・全体的に肯定率は高い。次年度以降もこの水準を維持しつつも、肯定率の下位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。また、否定的な回答については、少数であっても否定的な回答があることを受け止める必要があるのではないかと。

項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定 <参考>	分析・考察
3 私は、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして授業を行っている。	16	19	0	0	0	100.0%	-	+4.4%	95.6%	
1 本校では、学校祭・校外学習・宿泊研修などの学校行事は、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫を行っている。	14	20	1	0	0	97.1%	↗	+10.5%	86.7%	各行事の担当者を中心に、どの部署においても行事の企画立案実施が丁寧に行われていることが要因であると考えられる。
5 私は、カウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている。	17	17	1	0	0	97.1%	-	+3.8%	93.3%	
8 本校では、性に関する指導が系統的・計画的に行われている。	20	14	1	0	0	97.1%	-	+3.8%	93.3%	
2 私は、生徒の特性や実態をふまえ教員間で授業の内容や方法等について情報交換や検討する機会を持っている。	15	17	3	0	0	91.4%	-	+4.8%	86.7%	
4 本校では、生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	18	14	2	1	0	91.4%	-	+4.8%	86.7%	
6 本校は、いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	20	12	1	1	1	91.4%	-	-4.1%	95.6%	
7 本校では、生徒の人権を尊重して日常の教育活動を行っている。	11	21	2	1	0	91.4%	-	+2.5%	88.9%	
10 本校では、外部への情報提供の手段として学校のホームページが活用されている。	8	24	2	1	0	91.4%	-	+9.2%	82.2%	
11 本校は、教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている。	11	20	3	1	0	88.6%	-	+6.3%	82.2%	
12 私は、授業見学に複数回行った。	15	13	6	1	0	80.0%	↗	+11.1%	68.9%	公開授業週間(1週間/年2回)において、対象者への授業参観を促したことがひとつの要因であると考えられる。
9 教科の個別の指導計画の目標・手立て・評価の作成において、教務部を中心とする現行の体制は役立っている。	8	18	7	2	0	74.3%	-	-5.7%	80.0%	
14 本校では、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。	6	20	8	1	0	74.3%	-	+1.0%	73.3%	
13 本校では、初任者を含む教職経験1～2年めの者及び本校1年めの教職員に対する育成・支援が行われている。	5	17	10	3	0	62.9%	↗	+16.2%	46.7%	対象者に対して公開授業週間(1週間/年2回)において、対象者への授業参観を促したこと。次にミニ研修会の実施。また、専門学科体験会を行ったことなどが要因ではないか。ただし、肯定率は低い水準にあるので、今年の取り組みを継続しつつ、さらなる工夫が必要。

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
- 《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↗）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
- ①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
- ②肯定率が70%未満の項目について
- ③全体について

《分析・考察》

- ①増：項目1、項目12、項目13
- ②項目13
- ③全体について
- ・全体的に肯定率は高い。次年度以降もこの水準を維持しつつも、肯定率の下位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。

	項目	回答数				無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定 ＜参考＞	分析・考察
		①	②	③	④						
2	「むらの」の校外学習などの行事は楽しい。	6	9	0	0	0	100.0%	↗	+16.7%	83.3%	コロナの影響により昨年実施できなかった行事が今年度は実施できたことがひとつの要因ではないか。
9	「むらの」では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	2	11	0	2	0	86.7%	-	-2.2%	88.9%	
8	「むらの」の先生は私たちのことを考えてくれている。	5	8	2	0	0	86.7%	-	+3.3%	83.3%	
6	学校生活について「むらの」の先生の指導は理解できる。	3	10	1	1	0	86.7%	-	+3.3%	83.3%	
4	「むらの」の先生は、自分のことをよく理解してくれている。	5	8	1	1	0	86.7%	-	+8.9%	77.8%	
3	「むらの」では、将来の進路や生き方について考える時間がある。	3	10	0	2	0	86.7%	-	-7.8%	94.4%	
10	「むらの」での自分の個別の指導計画の目標を知っている。	4	7	3	1	0	73.3%	-	-4.4%	77.8%	
7	「むらの」の先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	4	7	3	1	0	73.3%	-	-4.4%	77.8%	
11	「むらの」では地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかをわかりやすく知らされている。	4	6	3	2	0	66.7%	↘	-27.8%	94.4%	共生との合同の避難訓練の実施が12月であったことが要因ではないか。ただし実施時期、回数の再検討、また事前学習の取り組みなどの見直しを含め工夫の余地はある。
5	「むらの」には、相談できる先生がいる。	1	9	3	2	0	66.7%	-	0.0%	66.7%	むらのでは時間的な制約により、相談する機会が少ないことが主たる要因ではないか。設置校教員との連携を引き続き行い、情報共有に努めたい。
1	火曜日に「むらの」へ行くのが楽しい。	3	7	4	1	0	66.7%	↘	-16.7%	83.3%	生徒の様子を見ていると楽しそうな様子も見受けられるが、設置校との環境の違いなどが影響しているのではないか。設置校教員との連携を引き続き行い、情報共有に努めたい。

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
- 《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↗↘）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
 - ①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
 - ②肯定率が70%未満の項目について
 - ③全体について
- 《分析・考察》
- ①増：項目2 減：項目11、項目1
 - ②増：項目11、項目5、項目1
 - ③全体について
 - ・回答の母数が少ないので、率の増減の幅は大きくなるが、肯定率の下位項目を中心に肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。

項目	①	②	③	④	無回答	肯定	前年比（±10%）		前年度肯定 <参考>	分析・考察
5 「むらの」は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	2	3	0	0	0	100.0%	-	+5.9%	94.1%	
7 「むらの」は子どもに生命を大切にすする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	3	2	0	0	0	100.0%	-	0.0%	100.0%	
9 学校は、教育情報について提供の努力をしている。	1	4	0	0	0	100.0%	-	0.0%	100.0%	
10 「むらの」は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	1	4	0	0	0	100.0%	-	+5.9%	94.1%	
2 「むらの」の校外学習などの学校行事は、子どもにとって魅力あるものになっている。	2	2	1	0	0	80.0%	↘	-20.0%	100.0%	
3 子どもは「むらの」の授業がわかりやすく楽しいと言っている。	1	3	1	0	0	80.0%	-	-2.4%	82.4%	
4 「むらの」の生徒指導の方針に共感できる。	3	1	1	0	0	80.0%	↘	-20.0%	100.0%	
6 「むらの」は日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している。	2	2	1	0	0	80.0%	↘	-20.0%	100.0%	
8 「むらの」の授業参観や学校行事に参加したことがある。	3	1	1	0	0	80.0%	-	+3.5%	76.5%	
1 子どもは「むらの」へ行くのを楽しみにしている。	0	3	2	0	0	60.0%	↘	-28.2%	88.2%	

【診断結果について】

- ・肯定率の高い順で記載
《区分》肯定・・・①あてはまる、②ややあてはまる
否定・・・③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・肯定率が、前年比±10%以上の項目に矢印（↘）を記載
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析、考察
①10%以上の増減（肯定率）があった項目について
②肯定率が70%未満の項目について
③全体について
- 《分析・考察》
①減：項目2、項目4、項目6、項目1
②項目1
③全体について
・全体的に肯定率は高い。回答数が少ないので、個別の分析は難しいがいただいた意見を参考に、肯定率上昇につながる取り組みを探りたい。